

科目名	保健	単位数	1 単位	実施予定授業数	35 時間
-----	----	-----	------	---------	-------

☆学習の到達目標

学習の 到達目標	保健の見方・考え方を働かせ、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、生涯を通じて人々が自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、健康・安全に生活していく技能を身に付けるようにする。 【知識・技能】 (2) 健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。 【思考力・判断力・表現力】 (3) 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。 【主体的に学習に取り組む態度】				
使用教科書・ 副教材 等	教科書 「現代高等保健体育」 大修館書店 問題集 「現代高等学校保健体育ノート」 大修館書店				

☆学習計画および評価方法

学 期	学習内容	月	学 習 の ね ら い (評価規準)	時数
第 1 学 期	導入「保健」の学習について	4	学習方法、ノートの取り方、探究活動の進め方、課題、座席等についての指導。	11
	3 単元「生涯を通じる健康」		3 単元「生涯を通じる健康」	
	1.ライフステージと健康	5	生涯を通じる健康について、その解決を目指した活動を通して、次の事項を身に付けている。	
	2.思春期と健康		ア 思春期の心身の変化に対応して、自分の行動への責任感や異性を理解したり尊重したりする態度が必要であること、及び受精、妊娠、出産とそれに伴う健康課題と、人工妊娠中絶の心身への影響について、理解している。	
	3.性意識と性行動の選択	6	【知識・技能】	
	4.妊娠・出産と人工妊娠中絶		イ 性に関わる健康について、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。	
	5.結婚生活と健康		【思考力・判断力・表現力】	
	6.中高年期と健康		ウ 性に関わる健康について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。	
			【主体的に学習に取り組む態度】	
	【知識・技能】			
	○定期テスト (80%) ○課題・授業プリント (20%)			
	【思考・判断・表現】			
	○保健ノート (50%) ○グループワーク (30%) ○質問や発表の内容の聞き取り (20%)			
	【主体的に学習に取り組む態度】			
	○授業への主体的参加 (70%) ○グループワークの相互評価 (30%)			
	【1 学期の評価方法】			
	「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に取り組む態度」をそれぞれ数値化し、各観点を 60% : 20% : 20% の割合で総括し、10 段階評定とする。			

学 期	学習内容	月	学 習 の ね ら い (評価規準)	時数
第 2 学 期	3 単元「生涯を通じる健康」 7.働くことと健康 8.労働災害と健康 9.健康的な職業生活 4 単元「健康を支える環境づくり」 1.大気汚染と健康 2.水質汚濁・土壌汚染と健康 3.環境と健康にかかわる対策 4.ごみ処理と上下水道 5.食品の安全性 6.食品衛生にかかわる活動	7 8 9 10 11	3 単元「生涯を通じる健康」 生涯を通じる健康について、その解決を目指した活動を通して、次の事項を身に付けている。 ア 労働による障害や労働災害は、作業形態や作業環境の変化に伴い質や量が変化してきたことや労働災害を防止するには健康管理や安全管理が必要であることを理解している。 【知識・技能】 イ 健康にかかわる原則や概念をもとに整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。 【思考力・判断力・表現力】 ウ 労働にかかわる健康について、課題の解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている 【主体的に学習に取り組む態度】 4 単元「健康を支える環境づくり」 健康を支える環境づくりについて、解決を目指した活動を通して、次の事項を身に付けている。 ア 健康に生きていくために、環境と健康、食品と健康、保健医療制度及び地域の保健・医療機関、様々な保健活動や社会対策、健康に関する環境づくりと社会参加などについて理解している。 【知識・技能】 イ 健康を支える環境づくりに関する情報から課題を発見し健康に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断するとともに表現している。 【思考力・判断力・表現力】 ウ 健康を支える環境づくりについて、課題解決に向けた学習に主体的に取り組もうとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】	14
	【知識・技能】 1 学期と同様			
	【思考・判断・表現】 1 学期と同様			
	【主体的に学習に取り組む態度】 1 学期と同様			
	【2 学期の評価方法】 1 学期と同様			

学 期	学習内容	月	学 習 の ね ら い (評価規準)	時数
3 学 期	4 単元「健康を支える環境づくり」 7.保健サービスとその活用 8.医療サービスとその活用 9.医薬品の制度とその活用 10.さまざまな保健活動や社会的対策 11.健康に関する環境づくりと社会参加 体育編	12 1 2	4 単元「健康を支える環境づくり」 2 学期と同様 体育編 3 単元「豊かなスポーツライフの設計の仕方」 豊かなスポーツライフの設計の仕方について、課題を発見し、その解決を目指した活動を通して、次の事項を身に付けている。 ア 卒業後においてもジョオに適した所外にわたる豊かなスポーツライフを継続していくために、各ライフスタイルに応じたスポーツの楽しみ方があり個人の欲求によって変化すること、運動機会や活動の場を条件とする自らのライフスタイルに適したスポーツとか川方があることを理解している。 【知識・技能】 イ 豊かなスポーツライフの設計の仕方について、課題を発見し、より良い解決に向けて思考し判断するとともに他者に伝えることをしている。 【思考力・判断力・表現力】 ウ 豊かなスポーツライフの設計の仕方についての学習に主体的に取り組もうとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】	10
	【知識・技能】 1 学期と同様			
	【思考・判断・表現】 1 学期と同様			
	【主体的に学習に取り組む態度】 1 学期と同様			
	【3 学期の評価方法】 1 学期と同様			
【年間の学習状況の評価方法】 各学期の「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に取り組む態度」をそれぞれ総括し、年間の 5 段階評定とする。				